

商学部貿易学科

学位（教育）プログラム名：国際貿易

本プログラムでは、ディプロマ・ポリシーで掲げた「知識・理解」「技能」「態度・志向性」を修得することができるように、講義科目および演習科目を体系的かつ段階的に編成します。

1 年次には、国際貿易に関する理論的・歴史的・実践的な知識を学ぶ基礎科目として、「貿易実務・ビジネス英語」「国際ビジネス」「理論・政策」「各国経済・地域」の領域の入門科目を配置します。また、少人数クラスでアカデミックスキルやリテラシーを高める貿易基礎ゼミナールおよびグループワークなどによる PBL（課題解決型学習）タイプの学習を行ないプレゼンテーション能力を高めるステップアップゼミナールを配置します。さらに、国際貿易に関する知識の土台として、法学、経済学等の関連教育科目を 1 年次から配置します。

2 年次以降は、「貿易実務・ビジネス英語」「国際ビジネス」「理論・政策」「各国経済・地域」の領域に関して学生が専門領域ごとに体系的に学びを深められるように、年次進行に従って段階的に高度化する専門教育科目および関連教育科目を配置します。併せて、2 年次後期から異なる文化や社会があることを意識し、自ら進んで地域社会と世界に向かって行動できる理解力と論理的考察力をもつ人材を育成する場として、少人数クラスによる専門演習科目を配置します。この専門演習科目を履修すれば、同じ担当教員のもと、同じ専門領域に関して 4 年次まで 2 年半継続して履修することになります。それによって、1 つの専門領域を深く学修することが可能となります。3 年次以降の履修計画は、この専門演習科目を中心に組み立てていきます。

3 年次には、専門演習科目を中心に、一般講義よりも深く専門領域を学ぶと同時に、それに関連する領域の専門科目を履修します。それによって、より体系的な学修が可能となります。最終学年である 4 年次には、専門演習科目において、大学 4 年間の学修の集大成として卒業論文を作成することが可能です。

【共通教育】

共通教育の CP に関しては別に定める。

共通教育に関する CP をもって学位（教育）プログラム CP を構成する。